

陸送協会ニュース

第 **182** 号

2022 年 5 月

編集・発行者

一般社団法人日本陸送協会事務局

東京都新宿区新宿 1-11-15

電話 03-3356-3977 / 7922

令和4年度 産業労使会議 開催される



開催日：令和4年4月19日(火) 15:30～17:00

東京都千代田区大手町東京會舘レベル21（アーバンネット大手町ビル21階）の会議室「スタールーム」に於いて、日本陸送協会10名、自動車総連8名の出席、またウェブ視聴参加のもと、第57回産業労使会議が開催されました。

1 代表者挨拶

日本陸送協会 北村会長挨拶



北村会長

本日は、昨年12月のトップ懇談会以来になるとありますが、その際に2022年への期待をいくつか申し上げました。一つ目は、猛威をふるっていたオミクロン株について、医療体制の逼迫にならないような行政の対応への期待です。二つ目は、半導体不足に伴う減産から回復する年になるという期待です。三つ目は、原油高に対し元売り業者に対する補助金だけでは効果が薄いという想定から、異なる制度の導入に期待しました。四つ目にワクチンの3回目の接種準備の早期化に期待しました。残念ながら、全てが、期待通りにはならず、逆に状況が悪化し現在に至っていると感じております。

市場に大量のバックオーダーがある中、3月の繁忙期には、各社、人員の増強を図り、車両置き場を確保しましたが、それらが空振りとなり裏切られた感があります。2021年度の新車市場は、昨年度に比べ約44万台の減少、一昨年度に比べ80万台以上減少し、約42.2万台となりました。特に下半期10月から3月の落ち

込みは大きく、対前年度約46万台減少し、陸送協会会員各社の経営面での負荷がかかっております。同時に中古車も前年度に比べ35万台程減少の65.7万台となり、新車、中古車とも大変な一年だったと思います。

4月の全国交通安全運動月間に現場を回ってみますと、例年と比べ現場に元気がないなど感じました。通常この時期は気候も温暖になり、繁忙期を超え一種の達成感から活気を感じるものですが、今年は例年と異なる様子でした。コロナと戦って3年目を迎え、自粛一辺倒に対して一種の閉そく感がある中、繁忙しなかった焦燥感、さらには2024年問題に向けての不安感等から、自然にストレスが溜まっているという印象を受けました。

2020年3月にWHOがパンデミック認定した際、コロナの収束には3年かかるとコメントした感染症の専門家がいましたが、今年はその3年目にあたります。時計の針を元に戻そうとするのではなく、この2年間のコロナとの闘い方の自粛一辺倒から、新しい生活のスタイル、新しい仕事のスタイルを定着させる事が、今後労使に求められている事だと感じています。

昨年の産業労使会議において、今後日本が歩んでいくニューノーマル、グリーン化、デジタル化について大事なことは、「乗務員に作業の負荷をかけない取り組み」にしなければならぬと申し上げましたが、本日そのための課題の共有化をしたいと思います。

グリーン化に代表されるのが電動化で

ありますが、電動化比率、バッテリー開発、充電器、補助金、リサイクル等々、EVに関して毎日のように報道されており、2024年問題という潜在的な課題を解決できていない中で、重量の重い電気自動車のように運んでいくのかというの、各企業や陸送業界独自に解決できる問題ではなく、自動車業界全体で考えていかなければならない問題であると共に、行政の協力も不可欠となります。そのような全方位に力を持っている団体が自動車総連でありますので、業界の抱える課題を共通認識とし、各自動車団体や行政に対しての自動車総連からの働きかけを是非お願いしたいと思います。

本日は、限られた時間ですが、ざっくりばらんな意見交換をお願いいたします。

自動車総連 金子会長挨拶



金子会長

こんにちは、昨年9月、総連会長に就任いたしました金子です。皆様よろしくお願いたします。

ただいま日本陸送協会の北村会長から発言ありましたとおり、面着で労使会議を行うことは昨年の6月以来久しぶりのことです。このコロナ禍での他の会議はウェブが多くなっていますが、陸送協会様

と私どもの会議は、面着で会議開催でき、感謝を申し上げたいと思っております。

産業の取り巻く環境は、北村会長からもありましたように言い尽くされてはいますが100年に1度の「CASE」(ケース)と「Maas」(マース)といわれながら、何年もそういったことが唱えられております。さらに加えて、カーボンニュートラル、DXという話もでてきております。さらにはコロナも3年目ということですし、ロシアのウクライナ侵攻で世界情勢不安を懸念することなど、中身が減ることなく逆に増えているというのがまさに現代社会の実情ではないかと思っております。

輸送業界を見ても、原油高問題があるうかと思えます。この問題に対して、我々も昨年の衆議院選挙で国民民主党の公約にトリガー条項凍結の解除を入れ込むところからやってきました。ようやく、自公とも連携をとりながらトリガー条項凍結解除の実現に向けておこなっています。なかなか実現にはいたっておりませんが、それ相応の補助金という形なっていますが、根本的な解決に至っておりませんので、何とか生活者と事業者と双方メリットがでるように取り組みを進めていきたいと思えます。

私どもの浜口まことが国民民主党から参議院選挙にでますので陸送業界のためにも頑張っておりますのでご承知おき頂きますと幸いです。

輸送業界の中で変わってきたなということが多々ありますことを改めて感じています。

まず積載車両の大きさや重量の問題があります。以前であれば心配しなくてよかったものが必然的に懸念せざるを得なくなっており、足元でいえば、減産と思えば、増産で人のやりくり等が現実的な問題になる中、2024年4月からはじまる時間外労働の上限規制の問題がまたなしの局面にきています。働く者の立場からみれば、やりがいの源泉という質自体が変わってきていることもあり、逆に関心、労働条件と変わらない部分もあるかと思っています。さらには、着実に進展しています路上積み降ろしの問題もあり色々変化が多いのですが、それら一つ一つ考えてみてすべてが連環していることだと思っています。そのようなことを有機的に解決していかないと、物が進んでいかないと思っていますので、ぜひここは、産業労使が力を合わせてやっていくべきところかと思っています。

さらに他の経営団体も巻き込みながら、産業全体の課題としてやっていかねばならないと思っています。最後に、産業全体でとらえたときに、輸送業

界の課題を自動車産業全体が痛くなって気づくのでは遅いと思っています。輸送業界が早い段階で手を打っていただくいいじであると思っています。本日はそのトリガーになる懇談になればと思っていますのでよろしくお願いいたします。

2 活動報告（日本陸送協会）

- ① 路上積み降ろし拠点削減活動について
- ② 商品の大規模化
- ③ 改善基準告示の見直し
- ④ 高速道路全料金所のETC専用化への対応
- ⑤ 税制改正に関する要望

3 活動報告（自動車総連）

- ① 2022年総合生活改善の取り組み
 - ② 総労働時間短縮に向けた取り組み
 - ③ 路上積み降ろし改善に向けた取り組み
 - ④ その他 関連する取り組み
- 組織内議員との連携／政策要望関連／カーボンニュートラル取り組み／産業魅力向上取り組み

本部だより

令和4年3月正副会長会議

日時 令和4年3月17日（木）
場所 ヒルズ青山会議室（渋谷区）
議事（審議事項）
（1）令和4年日本陸送協会 短・中期活動計画について

- ・日本陸送協会 部会・委員会のワーキングからの報告
- （2）自動車総連との産業労使会議について
- （3）令和4年度行事予定について 各事項について承認された。

令和4年4月正副会長会議

日時 令和4年4月19日（火）
14時～15時
場所 大手町東京會館レベル21
（千代田区）
議事

- （1）自動車総連との産業労使会議について
- （2）令和4年日本陸送協会 短・中期活動計画について
- ・日本陸送協会 部会・委員会のワーキングからの報告
- （3）令和4年度行事予定について 各事項について承認された。

支部だより

関東支部

令和3年度 関東支部総会

開催日 令和4年4月26日（火）
会場 神奈川県川崎市ソリッドスクエア
西館1階

新型コロナウイルスの感染拡大の終息が見えない状況を鑑み、今年も支部長、支部役員、事務局長出席の特別総会とし、書面決議を執り行った。

令和3年度事業報告、決算報告、会計監査報告、令和4年度事業計画、収支予算案、役員改選案が提案され承認された。
優良従事者表彰式については後日に延期開催の予定。
支部総会終了後、支部役員会を開催し、

諸課題について意見交換を実施し、各分会の近況を報告。



経過・予定

経過報告

- 3 / 17 正副会長会議兼総務部会
- 4 / 19 自動車総連との産業労使会議
- 4 / 19 正副会長会議兼総務部会
- 4 / 26 関東支部総会

今後の予定

- 5 / 17 近畿支部総会・優良従事者表彰式
- 5 / 18 中部支部総会・優良従事者表彰式
- 6 / 24 中国支部総会・優良従事者表彰式
- 7 / 7 正副会長会議兼総務部会
- 7 / 7 7月定例理事会

令和4年度「不正改造車を排除する運動」への取り組みについて

● 国土交通省より協力依頼がありました。

「不正改造車については、これまでも「不正改造車を排除する運動」を中心に、街頭検査等のあらゆる機会をとらえ、その排除に努めてきたところです。しかしながら、暴走行為、過積載等を目的とした不正改造車は、安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となっていることから、社会的にもその排除が強く求められております。特に、マイカーに改造を施したことにより保安基準に不適合となったもののその認識のないまま運行の用に供している自動車使用者、車検時には保安基準に適合させつつ車検後に不正改造を行う施工事業者、更にはそのような不正改造車について検査での合格を強要する悪質な事業者がいる状況となっています。

このような状況に鑑み、国土交通省では、令和4年度においても、関係省庁、自動車関係団体等の協力のもと、全国的に不正改造車の排除のための諸活動になお一層強力に取り組むこととしています。」

会員の皆様におかれましても「不正改造車を排除する運動」への取り組みについてご協力のほどよろしくお願い致します。

「不正改造車を排除する運動」は年間を通じた運動です。

今年の強化月間は6月です。

会員の皆様へ

● 日本陸送協会ホームページについて

※新型コロナウィルス関連はホームページの会員用「協会からのお知らせ」に掲載しております。

日本陸送協会のホームページを多くの皆様に閲覧して頂く為に、会員様のホームページからもリンク出来ますように、バナーを貼って頂けますようお願い申し上げます。

日本陸送協会ホームページURL

<http://rikusoukyoukai.org/>

日本陸送協会のホームページは毎月一度改定しておりますので閲覧下さい。

会員専用ページ閲覧には下記のID・パスワードが必要です。

ID : 2016rikusou

PW : kyoukai